

令和5年度第2回恵那市総合計画推進市民委員会 会議録

日時：令和6年3月21日（木） 午前10時～

場所：恵那市役所 西庁舎3階 災害対策室

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 副市長あいさつ
4. 【報告】 (1) 令和5年度恵那市市民意識調査について 資料 No. 1
(2) 令和6年度主要事業の概要について 資料 No. 2
5. 【議事】 地方創生関係交付金事業の効果検証について 資料 No. 3
6. その他 次期総合計画の策定について 資料 No. 4
7. 閉会
8. 出席者 8名

	氏名	選出団体等	備考	出欠
1	赤井 恵美	公募		欠席
2	安藤 啓高	恵那市民生委員・児童委員協議会		欠席
3	市川 祥子	恵那商工会議所		出席
4	岩井 慶次	恵那市防災研究会		出席
5	紀岡 伸征	恵那市社会福祉協議会		出席
6	瀬瀬 美由紀	恵那市農業委員会		出席
7	坂井 能子	恵那職業安定所		出席
8	佐藤 亜弥美	公募		欠席
9	芝田 幸代	恵那市恵南商工会女性部		欠席
10	西尾 修欣	恵那市教育委員会		欠席
11	服部 敦	中部大学	会長	出席
12	平林 道博	地域自治区会長会議	副会長	出席
13	山川 晃司	十六銀行恵那支店		出席

1. 開会

■事務局（進行）

これより令和5年度第2回恵那市総合計画推進市民委員会を開催する。

本日の会議は、「恵那市附属機関等の会議の公開に関する要綱」に基づき、原則公開とし、会議録も公表する。

2. 会長あいさつ

■会長

総合計画の様々な事業の進捗会議である。皆様それぞれの立場から、率直に話していただきたい。円滑な議事に務めるので、協力をお願いしたい。

3. 副市長あいさつ

■副市長

委員会に出席いただき、ありがとうございます。昨日から異常な天気で、今朝、岩村の飯羽間を通ったら、田んぼや家には積雪があった。

現在、市では、議会中で、令和6年度予算を審議している。特に、子育て支援に重きを置いて予算を計上した。子育て支援事業の充実を図る。

具体的には、こども園などの3歳以上児の給食費の無償化に踏み切った。また、小中学校の入学祝金も行う。さらに、引き続き、高校生までの医療費無償化も継続する。子育て支援事業をしっかりとやっていきたい。

動いている事業としては、恵那西工業団地を造成した。12月末に完成し、3区画のうち2区画は進出企業が決定している。

1区画は、千葉県市川市からヘレウス・エレクトロナイト（株）が進出する。本社機能も移転される。千葉から役員含め27名ぐらいが恵那に来る予定で、残りは地元雇用になる。人口も雇用も増えるので、非常に有り難い。同社がなぜ恵那市を選んだかという点、現工場が浸水地域にあることなどから、東南海地震に備え、リスクヘッジを図ったというものだった。そして、空港からあまり時間がかからない、できるだけ早く本社のあるベルギーに着けことを考え、リニアの開業を見据え恵那市を選んだということだった。リニアの効果は、完成すれば非常に大きなメリットが出てくる。

本日の会議は地方創生関係交付金の効果検証がメインとなる。率直なご意見をお願いしたい。

4. 【報告】

(1) 令和5年度恵那市市民意識調査について 資料 No. 1

■事務局（進行）

報告1について事務局から報告する。

[事務局から資料に基づき説明]

■事務局（進行） 質問はあるか。

[質問なし]

(2) 令和6年度主要事業の概要について 資料 No. 2

■事務局（進行）

報告2について説明する。

[事務局から資料に基づき説明]

■事務局（進行）

令和6年度の主要事業は、議会で審議中である。明日の最終日で議決されれば、このような事業が令和6年度から始まる。概要版資料を本日配布しているので、気づいた点があれば意見がほしい。意見、質問はあるか。

■委員

「6. 災害から生活を守る」について。耐震診断は年間5、6件止まりで進んでいない。人の命を守るということでは、耐震改修工事によらずに、耐震シェルターも考えていってはどうか。この地域は、間伐材がたくさんあるので、間伐材を活用したシェルターができると思う。企業との連携が望まれる。

また、能登半島地震を見ても、TKB（トイレ、キッチン、ベッド）が危惧されている。いかに日頃から備蓄ができていくかで、その勝負に勝てるかどうかということになる。例えば、3日分の備蓄と言われているが、能登半島を見ていると、2週間分くらいで考えないとだめだと思う。その辺を考えてもらいたい。

DX の話では、海津市は、マイナンバーカードを活用して避難所の受付をするという。DX を防災関係でも活用してもらいたい。

1 つ質問。小学校の屋内体育館の空調等の改修について、中学校はどういう計画か。

■教育委員会

体育館の空調については、今年度、設計を行った。令和 6 年度に小学校、令和 7 年度に中学校での改修を予定している。

■建設部

木造耐震の事業は、平成 14 年から実施している。今まで、503 件の耐震診断を実施した。その中で、木造耐震工事は 46 件。耐震診断はしたが、工事に至っていない。その分析としては、事業費 200 万円に対して 70%の補助をしているが、それでも工事費が相当かかってしまう、補助対象だけではできないというところもある。シェルターの対策も必要だと思っている。検討したい。

■事務局（進行）

委員から他に何かあるか。なければ議事に入る。

5. 【議事】

地方創生関係交付金事業の効果検証について 資料 No. 3

[事務局から資料に基づき説明]

■議長（会長）

質問、意見があれば。

■委員

この場で各事業の効果検証を行うということで、設定した KPI の達成率に基づいて効果検証していくということだと思うが、資料を見ると、年度ごとの KPI 達成率の欄に全ての事業で斜線が入っている。実績値まで出ているのになぜか。

■事務局

交付金の事業は主に 3 年間の計画である。最終目標が赤枠の累計の欄の数値。年度ごとで見るとなると、1 年目に目標値を達成していても、2 年目に数値が下がれば、達成率は 100%を下回ってしまう。単年度のみの数値ではなく、現在の状況が 3 年間の計画期間の事業計画に対してどれぐらいの進捗かということが分かるように記載している。年度ごとに達成率を出すと、累計分との整合性が取りづらいので、達成率は一つにまとめた。また、見やすさを重視して、今回は累計分のみで達成率を記載した。

■委員

資料 3-1「地域再生制度の概要」では、「事業の KPI を設定し、毎年度、効果検証を行う」と記載があるため、年度ごとにやらないといけないのではないか。累計で検証はできないと思う。実績値がきちんと出ているので単年で評価が必要だと思う。

■議長

私が、達成率を年度単位で出すのはおかしいと指摘した。年度単位での達成率は、数値としてはあまり意味がない。例えば、前の年でオーバーしていると、オーバーしている分が今年度の達成率に食い込んできてしまう。年度単位の目標数は、単に各目標値が年度に均等割りされているだけなので。前の年がオーバーしていると、次の年は下がってしまう。達成率としては3年間の中でどこまで来ているのかを見て各年度で評価すれば良いので、各年度の達成率は記載しなくても良いのではないかと意見を申し上げた。

■委員

恵那市たべる推進事業について説明いただいたが、大変すばらしい事業だと思う。消費者側も努力しなければいけないという部分を大事にしたい。私はマイクロファームをやっている。3 畳ぐらいの畑を屋敷の中に作って消費している。育てるという気持ちもそこに入っている。それが食文化につながると思う。育てるというところも今後も進めてもらいたい。

■委員

「たべる推進事業」の 4 ページに、「市内飲食店における市内からの調達率」がある。80%ものお店の方が市内産の食材を使いたいと言っているのに対し、実際は 30%というのが少し残念だ。

恵那市は環境が良く、農作物もおいしい。生産の内訳はお米が 90%ということで、お米を使う飲食店は多い。またトマト、ナスも多いが、それも飲食店が使いやすい食材だ。ニンニクも使うと聞く。それなのに、どうしてこんなに少ないのか。価格が大きな理由だと思うが、そこを市で応援していただくと良い。

8 ページの「④認定農業者数」について。令和 5 年度の目標が 75 人、事業開始前は 74 人、実績値が 77 人なので増えているが、その次の年も目標が 76 人、77 人と増えて、累計が 228 人となっている。認定農業者というのは年間に 2、3 名増えるぐらいなので、毎年 75 人、76 人増やしていくのというのは少し難しい数値だと思う。

■農政課

4 ページの市内調達率が低いことの主な原因は、基本的には、安定的にロットが供給できないこと。もう一つは、価格面での問題。農政課では、学校給食に地元の安心安全な野菜を使う取り組みをしている。市場から仕入れた方が安い場合もあり、その価格差を農政課で補助を行っている。学校給食でも積極的に使ってもらえる対策を取っている。飲食

店の希望に沿わないところは、課題を整理しながら差を埋めていきたい。

8 ページの KPI は、累積で足されてしまっているのが誤りで、本来は 77 人というのが最終的な目標値になる。誤りなので修正する。

■議長

累積 77 で、各年度の目標値は 1、1、1 となる。事務局は修正してください。

■副市長

調達率とはどういう意味なのかを担当部署から説明をしてください。

■農政課

アンケート調査の結果から実際の調達率が 30%となっている。トマトやナス、ニンニクの需要があるということが委員から意見があったが、どの食材が調達されているかまでの調査はできていない。お米が 90%という話もあったが、野菜の品目が少ないというところも大きな課題だと考えている。多くの種類がそろるように生産を支援していきたい。

■副市長

調達率の母数は何か。

■農政課

昨年、市内飲食店にアンケート調査をした結果が 80%に対し 30%という乖離が出たというデータとなる。

■副市長

調査の結果、飲食店の 80%の人が市内産物を使いたいと言っているという解釈で良いか。

■農政課

そういうことだ。例えば 100 軒の飲食店のうち 80 軒が市内の農産物を使いたいということ。

■副市長

委員からの意見は、米を使ってもらえれば調達率が上がるのではないかという意見だと思ったが。

■委員

そうではないが、理想はその方が良く。恵那のお米はおいしいと聞いている。

■農政課

お米も含め学校給食では全て恵那市産のものを使っている。

■議長

今の説明だとおかしい。100 軒のうち 80 軒というのは調達率ではない。平均で各店舗の調達率が 80%を希望しているということでなければ。店舗数の割合ではない。数字を確認してほしい。

■農政課

確認する。

■委員

恵那未来キャンパスの構想の実現について興味を持った。いろいろな講座を行ったということだが、10 ページ、KPI で、20 代から 39 歳の女性の転出が多かったことは残念だ。

子育て支援にも力を入れるということだが、女性が活躍できるための学びの場、女性の特化した活躍できるところが未来キャンパスにもあると少し変わってくると思う。来年度の講座の構想について聞きたい。

■まちづくり企画部

現在は、学生をターゲットにして展開している。これをもっと拡充し、企業のセミナーなどができて、市外に出ていなくても恵那市で働くことができる取り組みにつながる講座も考えたい。また、大学と連携し、サテライトキャンパスのような位置づけで活用できないか検討を進めている。特に女性が市外に出ていくのは職業上もあるが進学も大きな要因なので、ここで学びながら住んでいただくために大学との連携も進めたい。

■企画課

今年度、「女性が自宅に居ながら稼ぐ」ことテーマにした講座を行った。例えば、チラシやホームページの作成やデザインは、企業側のニーズもある。受講した方など仕事を受けたいと考える方もたくさんいる。このようなマッチングをできるようにプラットフォームを未来キャンパスに作ったので、活用したい。

■委員

今後の取り組みを具体的にするのが今回の一番の目標だと思う。恵那未来キャンパス構想では、今後の取り組みがかなり抽象的だと思う。新しい年度が始まったらすぐに取り組めるように具体的に挙げていかないといけない。それが文章には落ちていない。公共交通では何月に何をやるかということまで書いてあるのでとても良い。

効果検証について。あくまでも業績の評価は、KPI に基づいてやらないといけない。アウトドアリゾートの事業の資料で、「効果」を説明しているページがあるが、例えば「観光人口が増えた」というのは、アウトプットであり、たまたま出てきただけかもしれない。成し遂げようとしてやっているのは KPI に掲げたことだから、それに基づいて効果があったかなかったかを言わないといけない。少し構成を考えてもらいたい。KPI に沿って成し遂げようとしたもののみが効果で、結果的に出てきたものを効果というのはおかしい。

■事務局

本日の資料では抽象的で分かりにくくて申し訳ない。新年度も具体的な事業を計画している。

■議長

委員が言われた通りだと思う。今後の取り組みのところは、新年度の取り組みにいかに関与するかということはこの会議でやるということなら、もう少し具体的に書かないと委員から意見をもらえない。

効果のことは、言葉の使い方が悪いのだと思う。実績が書きたければ実績として書いてあれば良い。実績と効果を分けて書いた方が良い。言葉の使い方が混乱しているので整理した方が良い。

■委員

全ての事業において、これから改善すべき点に基づいて今後の取り組み、方針が書かれている。希望がある内容なので今後に期待したい。

アウトドアリゾートは、保古グランピングの英語版 HP を作ったり、新たなネイチャリングツアーを 40 本増やしたり、地元との連携で新しいプランを、と記載があるが、様々な市内事業所の意見を吸い上げていただきたい。短時間で面白いものが作れると思うので、ここだけに留まらず、さらに周遊していただけるような形に繋げてほしい。

地域の公共交通の取り組みについて、域外から来た人や高齢者が抵抗なく市内を移動できる環境の整備とある。恵那駅の近くは、徒歩の人が結構いる。例えば、駅周辺から恵那峡へ行くにはどうやっていったらいいのか、明知鉄道に乗るにはどうしたら良いかという質問を海外の方などから受けることがある。海外の方や市外から来た方には少し分かりにくいようだ。海外の方は言語の問題もあるが、何か分かりやすい案内が作れると良い。

未来キャンパスについては、内容が充実している。移住者向けの情報発信をもっとすると恵那の魅力が出ると思う。事業所からは、人が足りないという声をたくさん聞く。具体的に必要な技能などが事業所の人材確保とうまく繋がると良いと強く思う。

恵那市はSDGs 未来都市なので、全部がそこに繋がるかたちで、恵那市の特色としてやって欲しい。ソフトの発信、Instagram でも良いが、そういうかたちで若い人がもっと動くと良い。

■議長

具体的な提案があった。それぞれの事業で参考にしてください。他にありますか。

■副市長

多様な意見をありがとうございました。本日の会議の地方創生関係交付金事業の効果検証の説明資料は、これまで文字のみで分かりづらかったという反省があり、委員からの意見を活発にいただけるよう、作りを変えたものになる。全部見合わせができていない発展途上のもので、申し訳なかった。多様な意見を頂いたので、次回に向けてさらに良い資料を作っていきたい。

■まちづくり企画部

委員の意見の中で、公共交通について行先まで分かりにくいという話があった。現在市

では交通コンシェルジュの取り組みをしている。この宣伝がまだ足りていないと思うので、これを活用してもらえようしっかりとPRしていきたい。

未来キャンパスについて、移住者向けの情報発信についてご意見をいただいた。恵那ビジネスサポートセンターやハローワークとも連携して、未来キャンパスで移住者向けの起業のセミナーなどができたらと思っている。貴重な意見をありがとうございました。

■議長

議事はこれで終了する。

6. その他

次期総合計画の策定について 資料 No. 4

■事務局（進行） その他、事務局から。

[事務局から資料に基づき説明]

■事務局（進行）

委員には現計画の進行管理のために委員になっていただいた。3月31日で任期が満了する。2年間ありがとうございました。今後の市政運営に役立てたい。

7. 閉会

■副会長

委員におかれては、熱心なご意見をありがとうございました。行政におかれては、恵那市が何を指そうとしているのか、A4の1枚に収めた分かりやすい良い資料だった。事業の方向性が出たと思い、嬉しく思う。新しい年度、新しいまちづくりが始まる。それぞれの市町村がしのぎを削っている。事業を考えるうえで、3つのことが大切だと思う。1つ目は競争に耐えるか。東濃には5市、全国にも様々な市があり、立ち向かって競争しても負けない施策を打ち出すこと。2つ目は、結果に耐える行政。結果は出さないといけない。来年1年、結果を出すということを大事にしてほしい。3つ目は評価に耐えること。色んな人が見たときに、評価を正当に受けるような事業が展開できると良い。

来年度は、市制20周年の区切りを迎える。20年を振り返り、新しい方針を出せたらと思う。

■事務局（進行）

これで閉会する。

〔 閉 会 〕